

台湾の養豚場で初のアフリカ豚熱発生！

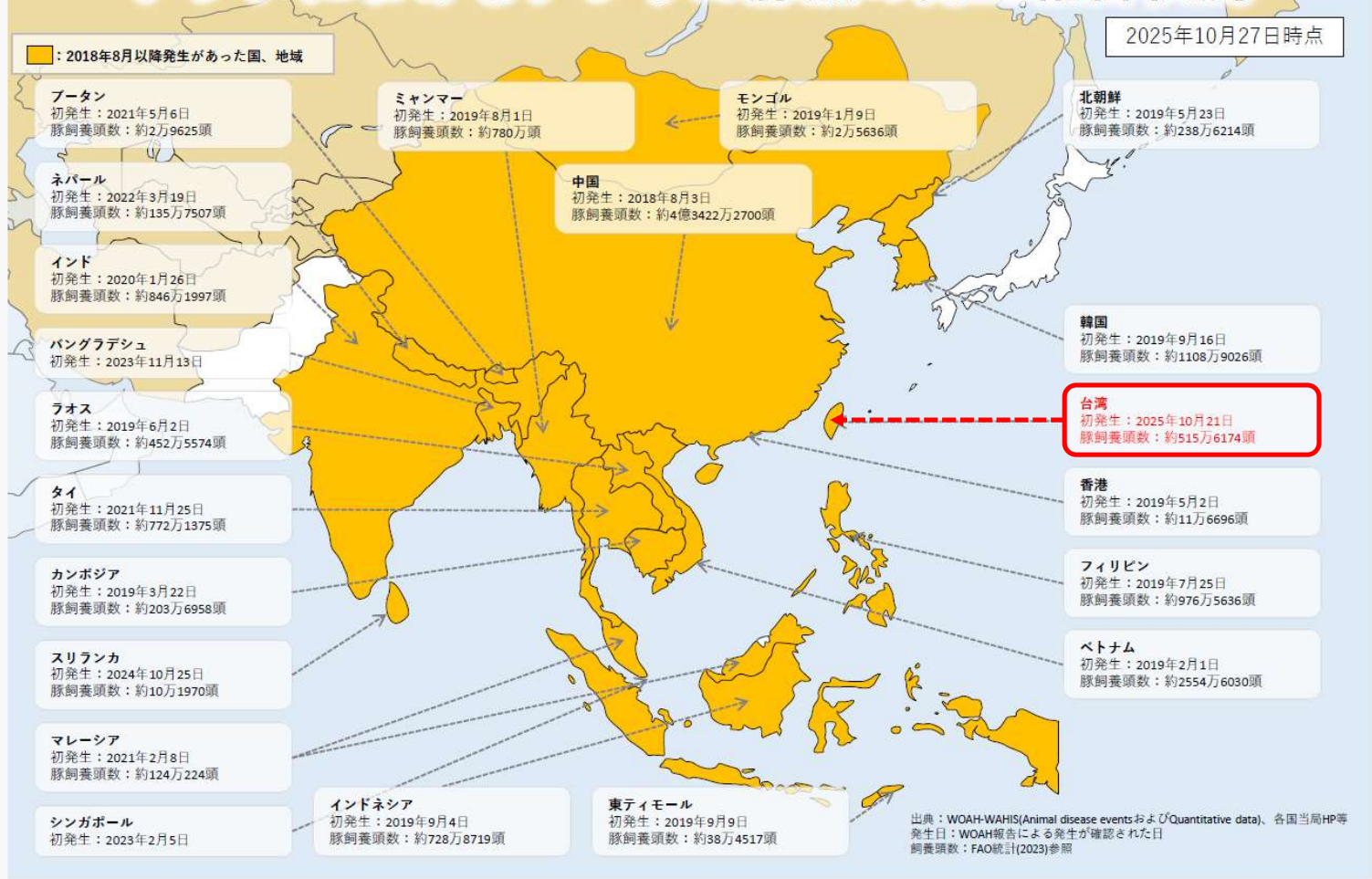
これまで発生のなかった台湾で、本年10月21日、台中市梧棲区の飼養豚においてアフリカ豚熱の発生が確認されました。

現時点で国内の発生は確認されていませんが、世界（特にアジア）における発生拡大により **我が国への侵入リスクが非常に高まっています！**

国内に病原体を侵入させないための対策が重要です。



アジアにおけるアフリカ豚熱の発生報告状況



豚等を飼養する農場へ 病原体の侵入防止対策の徹底を！

- ❑ 疾病の発生状況把握と本病発生地域への不要不急の渡航の自粛
- ❑ 外国人従業員等に対する海外からの肉製品等の持込み（荷物の配送によるものを含む。）の禁止
- ❑ 衛生管理区域に関係ない人や車を立ち入らせない、不要なものを持ち込ませない
- ❑ 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄、消毒の実施
- ❑ 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底
- ❑ 野生動物の侵入防止対策の徹底（防護柵、防鳥ネットの設置等）
- ❑ 毎日の健康観察
- ❑ 異状の早期発見・早期通報

衛生管理を徹底しましょう！



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする
際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

豚熱

2018年9月以降
日本で発生中

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

重症例は後肢麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

アフリカ豚熱

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡

急性では発熱が見られます。

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

《中央家畜保健衛生所》(平日8:30～17:15) 0176-23-6235
(夜間・土日祝) 090-6453-7023